

平成27年度第4回厚木市立病院運営審議会会議録

会議主管課 病院事務部門経営管理課
開催日時 平成28年3月15日(火) 午後2時から2時30分まで
開催場所 A棟2階大会議室
出席者 運営審議会委員9人
病院事業管理者、病院事業局長、副院長、病院事業局次長兼医事課長、
経営管理課長、病院事業局参事兼経営管理課兼施設・用度担当課長、
患者支援センター長、患者支援センター担当係長、事務局
会議の経過は、次のとおりです。

1 開会(次長)

2 病院事業管理者及び会長あいさつ

3 議題(会長)

(1) 平成27年度第4四半期までの紹介率・逆紹介率の見込みについて

患者支援センター長：資料に基づき説明。

委員：眼科が紹介率98.2%、逆紹介率124.8%という数字はどういう方が紹介されてこのような数字になるのか。

患者支援センター長：低いところは皮膚科や形成外科ではあるが非常勤医師のため、診療日が少なく紹介状も増えない状況、多い科として眼科があるが医師の数が少ないため、紹介状の持参の患者さんを主に受入れ、手術が終わった方や症状が落ち着いた方は、地域の医療機関へお返しするようにしている。

委員：眼科の逆紹介率124.8%という数字は院内で内科を受けた方が外科、眼科と受診したためこういう数字になるのか。

病院事業管理者：おっしゃられた通り、内科で受けた方が、外科、最終的に眼科を受診し地域の医療機関へお返しする場合は、眼科から紹介状をだすため、紹介率、逆紹介率が高くなる。

(2) 平成27年度第4四半期までの共同利用の見込みについて

患者支援センター長：資料に基づき説明。

会長：昨年度より増加しているのか。課題や目標などを教えてください。

患者支援センター長：院内も混んでいて病院のスケジュールと地域の病院からの使用希望と合わせていくのが難しいことが課題となっている。

会長：共同利用は多くやられているという解釈ですね。

患者支援センター長：希望にあうように調整を進めていきたいと考えている。

(3) 平成27年度第4四半期までの研修の状況について

患者支援センター長： 資料に基づき説明。
委員： 地域支援病院になるにはどういった基準か。
患者支援センター長： 12回以上開催が必要です。
副会長： 参加者が院内、院外のどちらが多いかは関係があるのか。
患者支援センター長： 特に関係ないです。
副会長： 9回目が院外が1人ですが、特に関係ないということですね。

委員： 私は市民ですが研修については知らなかった。どうやって告知をしているのか。
患者支援センター長： 医療関係者向けのため、市民への告知はしていません。
経営管理課課長： 市民向け講座は、平成27年度は5回開催しました。内容は、9月は「女性泌尿器科について」、10月は「糖尿病予防とバランスのよい食事」、11月は「腰痛について」、12月は「糖尿病の予防」、1月は「被ばくの話」でした。多いときは70名ほどの方に参加していただいています。ホームページで周知しています。

(4) 地域医療支援病院承認申請の見込みについて

患者支援センター長： 資料に基づき説明。
来年度の委員の方には申請に必要なため、委員就任承諾書及び履歴書の写しを改めてお願いしたいと考えている。
委員： 資料の(2)は、これのどれかで申請できるということか。
患者支援センター長： そうです。当院が目指しているのは紹介率65%以上、逆紹介率40%以上です。
副会長： 地域支援病院になって良い点は何か。
次長： まず、医療の質をあげる、地域の医療機関との医療連携をしつかりするというのが第一。承認されれば商標登録となる。診療報酬の面で診療の単価に定数が加算され、収益が年間5千万円くらいあがる。当然、さらに医療の質もそれとともにあげていく。
副会長： 申請と承認はいつごろか。
患者支援センター長： 今年の5月から6月に申請し、神奈川県医療審議会が年2回、1回目が9月から10月に審議され、承認いただければと考えている。
副会長： 承認を受けた後、診療単価はいつから上がるのか。
次長： 施設基準の届出はいらないので承認の翌月から。
委員： 資料の(7)の救急用又は患者搬送用自動車は病院専用のものなのか。消防署でなく、専用に必要なのか。
次長： 救急患者の方等で、もっと高度な治療が必要な時の輸送手段として備えている。
局長： 申請要件として救急車は備えていないといけない。専用に備えている。

(5) その他
特になし。

4 閉 会 (副会長)

(病院事業管理者あいさつ)